

## 水稲に対するロングワイド 660 の効果確認試験結果

### 1. 目的

水稲に対して緩効性窒素ウレアホルムおよび硝酸化成抑制材ジシアンジアミド入り化成肥料「ロングワイド 660」を施用し、追肥をともなう慣行施肥区と収量および食味を比較検討する。

### 2. 材料、方法

- 1) 試験地：岩手県奥州市 供試品種：ひとめぼれ
- 2) 栽培管理
  - 田植日：2011 年 5 月上旬
  - 栽植密度：ひと坪当たり 60 株植え（株間 18cm、畝間 30cm）
  - 追肥日：2011 年 7 月上旬
  - 収穫日：2011 年 9 月下旬

表 1. 施肥内容

区分	施肥時期	施用銘柄	施用量 /10a	成分量（保証値） kg/10a			
				N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO
試験区	基肥	土改材 ニュートリスマート	20 kg				
		ロングワイド 660 (16-16-10+3)	40 kg	6.4	6.4	4.0	1.2
慣行区	基肥	リン酸、苦土、珪酸入り 土作り肥料 (P-6.0%、MgO-5.0%、 SiO-20.5%、アルカリ 33%)	100 kg		6.0		5.0
		化成肥料 (12-15-15)	40kg	4.8	6.0	6.0	
	追肥	化成肥料 (12-18-14)	17 kg	2.0	3.0	2.4	
合計			試験区	6.4	6.4	4.0	1.2
			慣行区	6.8	15.0	8.4	5.0

補足) 同一水田内に対照区と試験区を設定。

- 3) 収量調査
  - 9/22 に刈取り調査実施。中庸な生育をしている箇所から 10 株を刈取り、これを 3 反復し 30 株として分析委託先へ発送した。食味分析は当社大牟田工場分析室で実施した。

### 3. 収量調査結果

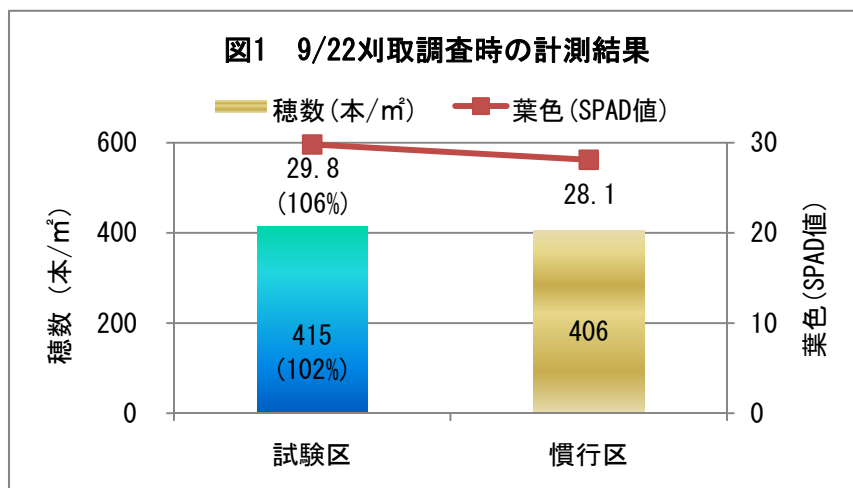


表 2. 収量構成要素分析結果

	試験区	慣行区	比率(%)
穂数(本/m <sup>2</sup> )	427	460	93
1 穂粒数	78.2	77.3	101
登熟歩合(%)	83.9	79.0	106
千粒重(g)	22.0	21.9	100
収量(kg/10a)	616.3	615.3	100

表 3. 食味分析結果

	試験区	慣行区	比率(%)
品質評価値	71	72	99
タンパク(%)	6.9	6.7	103
水分(%)	13.3	13.3	100
アミロース(%)	18.8	18.6	101
脂肪酸(%)	18.0	17.0	106

#### 4. まとめ

- 1)刈取り時生育調査結果：穂数は両区でほぼ同等であったが、葉色については試験区が慣行区をやや上回った（図 1）。
- 2)収量構成要素分析結果：試験区の 10a 当たり収量は慣行区とほぼ同等であった（表 2）。穂数はやや少ないものの、登熟歩合が高かったことにより収量をカバーできた。
- 3)食味分析結果：試験区の品質評価値は慣行区と同等であった（表 3）。

本試験において、ロングワイド 660 施用試験区は追肥をともなう慣行施肥区と同等の収量、品質評価値が得られた。同地区においてはロングワイドに含まれる緩効性窒素および硝酸化成抑制材による肥効の持続が期待され、一発施肥は可能と推察される。

以上